

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 4 - 8 - 1
要綱上の事業名称	(25)市街地復興関連小規模施設整備事業
細要素事業名	災害公営住宅入居者交流施設設置
全体事業費	10,000千円
<p>【事業概要】 同じ団地に居住する入居者間のコミュニティ形成を図ることを目的として、災害公営住宅の外構に休憩所（四阿、テーブル、ベンチ）を整備する。 敷地内に施設整備可能な面積を有する市営田老三王災害住宅を想定。</p> <p>入居者からは、「慣れない集合住宅生活によりあまり外に出なくなった」、「近くに気軽に集まれる場所がほしい。」という声や「交流が無いため、誰が住んでいるのかもわからない。」という話が寄せられる。 入居者は比較的高齢者が多く、平成29年7月末現在で、田老三王災害住宅〔共同住宅1～8号棟（54戸）〕については、65歳以上の高齢者が43人、うち15人は単身入居者である。</p> <p>【基幹事業との関連性】 入居者同士の交流が増えることにより、入居者の居住環境をさらに良くすることはもちろん、住民同士によるお互いの見守り、特に一人住まいの高齢者の見守りにもつながることから、入居者の交流施設の整備を行い、災害公営住宅の整備を補完、促進するものである。</p>	

この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。